

宗谷

宗谷教職員組合

宗谷情報「ミニ」第11号 2020年2月29日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web: <http://www.soya-teachers.org> Mail: info@soya-teachers.org

メールは
こちら→



新型ウィルスから子どもたちを守る！

命と健康、そして未来を…

2月27日（木）、安倍首相は3月2日から全国すべての小中学校及び高等学校、特別支援学校において春休みに入るまで臨時休校にするよう要請しました。「要請」は絶対に従う必要があるものではなく、最終的に決めるのは自治体です。しかし「事実上の命令と感じた」と述べている方が少なくありません。愛媛県の中村知事は

「今回のやり方は唐突過ぎると疑問を感じており、意見を聞く場もない一方的な要請だ」

と政府を批判しました。

石川県の谷本知事は

「きのう（27日）の発表で来月2日から休校というのはあまりにも唐突という感が否めない。この3日間ですぐに方針を立てて実行に移せるものなのか」

と述べています。

このように各地から批判が出る中で安倍首相は次の日の28日、衆議院予算委員会の中で

「基本的な考え方として示した。各学校、地域で柔軟にご判断いただきたい」

と述べています。完全な後出しジャンケンですね…。

首相の休校要請よりも先に1週間の臨時休校を全道に要請した北海道の鈴木知事は27日に道内の小中学校・特別支援学校の臨時休校を春休みまで・高校を3月2日から春休みまで臨時休校とすることを「実施するよう進めてまいります」と述べました。道外の学校の様子はニュースでも流れましたが、どの学校でも子どもたちの不安な様子がありました。

北海道は当初「1週間の臨休」と区切られたので様々な想い・意見があったものの現実問題として受け入れ、休みに入りました。しかしそこには1週間後の子どもたちの姿が見えたから受け入れられたのです。バタバタと臨休に入り、そのまま明確な説明もないまま春休みを迎えることに、子どもたちは果たして納得できるでしょうか？現在のところ、卒業式については規模を縮小して行うことが検討されています。しかし在校生のことについては何も触れられていません。子どもたちの命と健康を守ることは当然で理解できますが、子どもたちの想いや居場所は簡単に「排除」されてよいのでしょうか…。

帯広の厚生病院では臨休に伴う看護師（保護者）の出勤が難しくなり、予約・緊急以外の患者受け入れができない状況にもなっています。「そんなに熱も上がっていないし…咳もひどくないから…」と通院を諦める人も出ているでしょう。その中にも新型ウィルスに感染されている人がいるかもしれません。「これ以上の感染拡大を可能な限り抑える」という方針に逆行する動きでもあります。

頭を冷静にしながら、今困っていること、そして今後困り得る可能性があることをぜひ支部・本部へ教えてください。また臨休前日の子どもたちの声もぜひお寄せください！！みんなでより良いあり方を考えていきましょう！！